

3 建築計画

3-1 配置計画

一体的な群造形をつくる建物配置

- 敷地南側に建物を集約して、県警本部庁舎を加えた300mにおよぶ建物群と、新庁舎前の緑の空間や公園を調和のとれた景観とします。
- 建物は、機能ごとに別棟とし、独立性を確保するとともに、連絡通路等で相互に接続します。
- 駐車場不足をきたさないよう、立体駐車場のほか、建物前やグラウンドに駐車場を整備します。
- 建物の外観は、耐久性、経済性、メンテナンス性に配慮した外装材を用います。

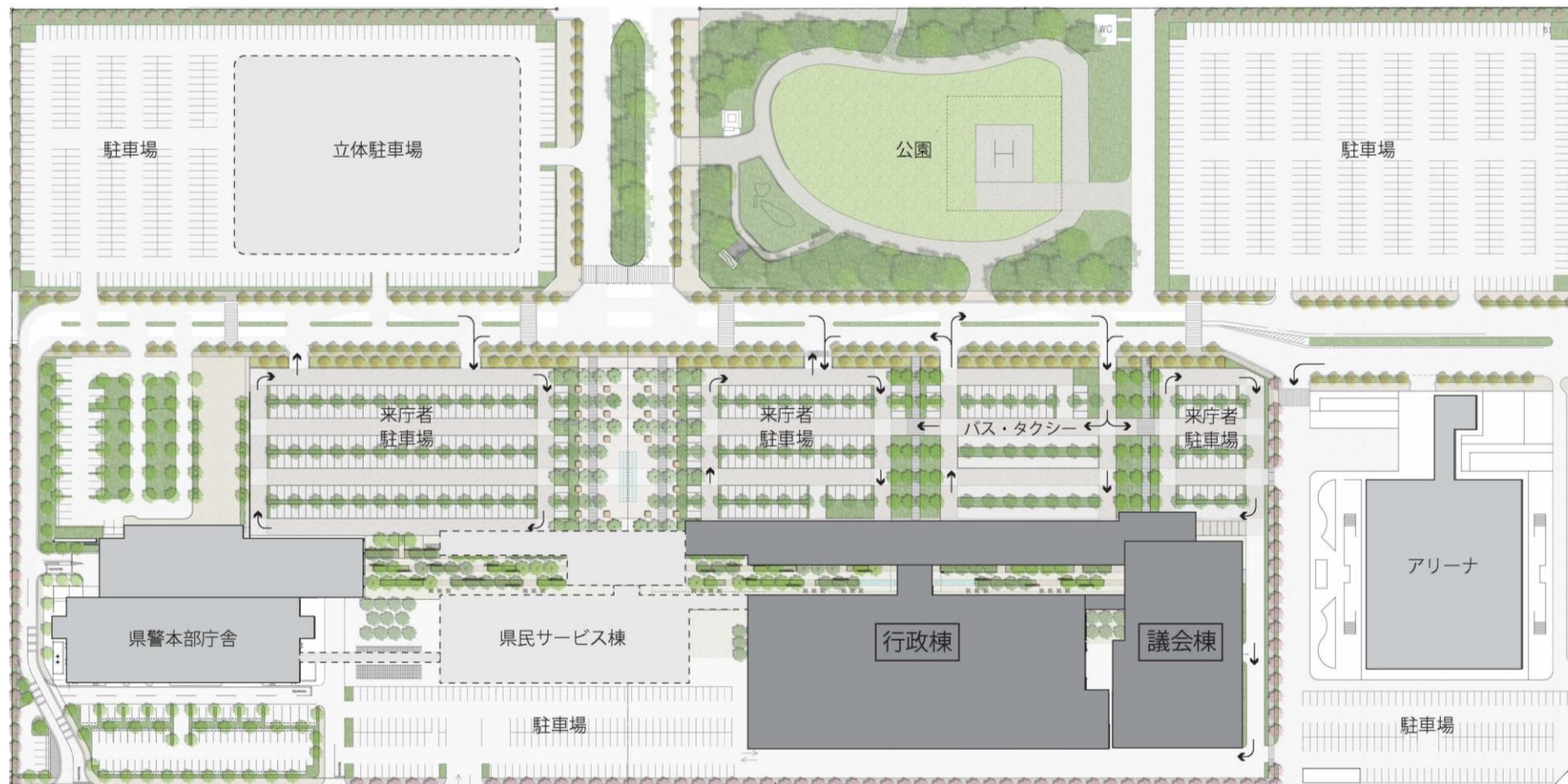
利用者にやさしい緑豊かな空間・公園

- 各棟へアクセスがしやすい建物前の来庁者駐車場には、岐阜にまつわる樹木を植樹し、緑豊かな空間とするとともに、ミスト等により親水空間を形成します。
- 公園は、イベントを開催するとともに、県政のモニュメントを集約し、情報発信の場として活用します。
- 災害時の円滑な対応のため、緊急時に使用できるヘリポートを公園に整備します。

3-2 動線計画

来庁者にやさしい動線計画

- 一般車、バス・タクシー、公用車の利用エリアと歩行者動線を整理し、安全確保を図ります。
- 敷地内には、桜や銀杏を活用した歩行者専用空間を整備し、歩行者の安全確保を図ります。
- バリアフリーの観点から庁舎主玄関を1階とし、わかりやすい案内サインと誘導設備などを導入します。



配置・動線計画図

10 20 40 100m

